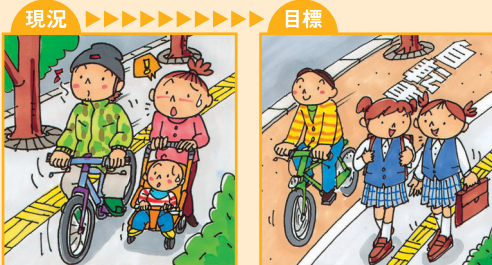


広島市中心部における自転車利用環境の改善延長

歩行者との安全な共生を図るため、 自転車利用環境の改善を進めます



昨年度の 成果

平成18年度は、関係機関との調整が遅れたことにより計画通りに実施できませんでした。

代表的な事業	目標	実績	評価	事業の説明
一般国道54号(中央局北~白神社前)	0.25km	0km	未達成	未整備
一般国道2号(国泰寺~新明治橋東)	0.7km	0km	未達成	未整備
中広宇品線(県立広島大前~段原中央)	2.1km	1.5km	達成	歩道に区画線と歩行者・自転車マークを設置し、視覚的に歩行者・自転車を分離しました。

今年度の 取り組み

平成19年度は、幅の広い幅員の歩道について、歩行者と自転車空間の視覚的分離を積極的に行います。

代表的な事業	目標	事業の説明
一般国道2号(出汐~新観音橋西詰)	3.4km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。
一般国道2号(観音本町~スタジアム入口)	0.6km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。
一般国道54号(市役所北~白神社前)	0.4km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。
紙屋町御幸橋線(鷹野橋~御幸橋西詰)	1.1km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。
駅前観音線(スタジアム入口~上天満町、城北駅北~白鳥)	2.1km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。

歩行者・自転車分離の整備率の指標



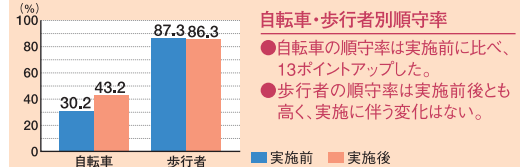
*広島市において平成17年度に「交通ビジョン推進プログラム」が策定されたのをうけ、平成17年度から推進プログラム内で使用されている「広島市中心部における歩行者・自転車分離の整備率」を指標として採用しています。尚、本指標は広島市中心部において自転車道の整備や舗装色の違いなどによる歩行者と自転車が分離されている道路の整備率を表現したものです。

昨年度の達成度

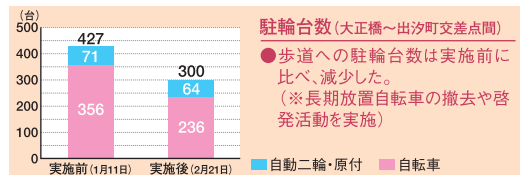
平成18年度実施区間



平成18年度は、中広宇品線(大正橋交差点~出汐町交差点間L=1.5km)の歩道に区画線(白破線)と歩行者・自転車マークの設置を行いました。



- 自転車の順守率は実施前に比べ、13ポイントアップした。
- 歩行者の順守率は実施前後とも高く、実施に伴う変化はない。



- 歩道への駐輪台数は実施前に比べ、減少した。(※長期放置自転車の撤去や啓発活動を実施)



歩道の車道寄り幅1.5mの位置に区画線(白色、破線)を引き、建物側を歩行者通行帯、車道側を自転車通行帯とし、それぞれ歩行者、自転車マークを設置した。



平成19年度の取り組み

平成19年度実施区間



平成19年度は、以下の区間の歩道について歩行者と自転車空間の視覚的分離を行います。

駅前観音線
整備区間 ①スタジアム入口~上天満町 ②城北駅北~白鳥
整備延長 ①1.5km、②0.6km
整備内容 歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します

国分	実施済		計画
	H18年度	H19年度	
広島市分	●●●●●	●●●●●	●●●●●

*計画については、視覚的分離が可能と思われる(歩道の有効延長が概ね3.5m以上)路線を抽出